

鵜川地区復興まちづくりニュース

第1号

地区別復興まちづくりの取組をスタートしました！

能登町の**町内5小学校区**の個性や特徴を生かした復興まちづくりを具体的に進めるための計画として、「地区別復興まちづくり計画」の策定を進めています。

「復興まちづくりニュース」を発行し、計画策定の取組状況等を発信してまいります。

地区区分



01

地区別復興まちづくり計画の取組について

鵜川地区の復興に向けた取組状況

地区の皆様からご意見をいただきながら、計画の策定を進めています。

鵜川地区復興まちづくり協議会

【参加者】委員 14名
町会区長会連合会代表、小学校 PTA 関係者、公民館関係者、消防団員、町復興推進委員

【協議内容】

- ・復興公営住宅について
- ・災害に強いまちづくりについて
- ・鵜川地区の復興を越えた未来の姿について

住民ワークショップ

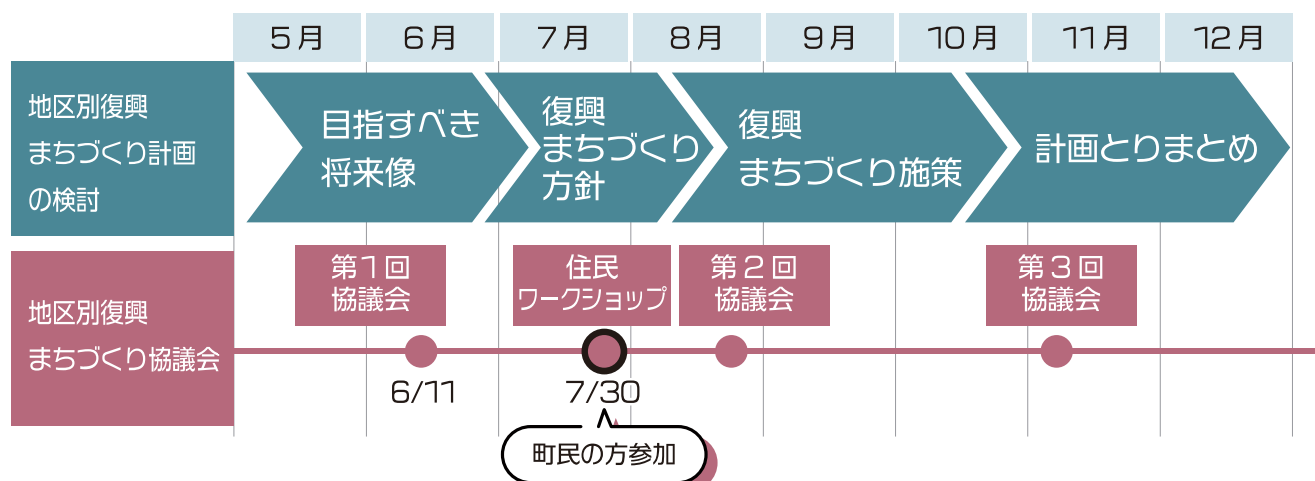
【参加者】町民

能登町

能登町復興計画
(令和7年2月策定)

地区別復興まちづくり計画
(作成中)

鵜川地区の復興に向けた今後の流れ



【日 時】 令和7年6月11日(水) 18時30分～20時30分

【会 場】 鵜川公民館

【テーマ】 ①鵜川小学校区の被害状況と地区への想い
②今後の鵜川小学校区のまちづくりに求めること



協議会での主な意見

【まちなみ】

まちなかは被災してシートがかかった住宅や、解体による更地が点在している。

⇒昔のまちなみをどう取り戻すのかを考えたい。

【暮らし・つながり】

被災によりまちなかと仮設住宅に分かれて生活しているため、地域のコミュニティの希薄化が進んでいる。

⇒まちなかに子どもから大人まで気軽に集まり交流できる場が必要ではないか。

⇒古くから伝わる「にわか祭」だけでなく、地域イベントを実施することで、地域の結束力を高めることはできないか。

【子育て】

子育てするうえで安全安心な暮らしが重要である。

⇒通学路の歩道整備や、子どもの見守りを含めた地域と子どもの関わり合いが必要ではないか。

【生業】

小規模な農業を営んでいる方が多い。

⇒無人販売の仕組みなどを導入、法人による農業の活性化、企業支援などを促すことで解決できないか。

【関係人口】

いかに関係人口を増やすかが重要である。

⇒既存のお店だけでなく、さらに立ち止まってもらえる拠点（例：道の駅など）を呼び込めないか。



このニュースへのご意見や、まちづくりに関するご質問等がありましたら、お気軽にご連絡下さい。

問い合わせ先

能登町 復興推進課 担当：灰谷・道岸・朴澤

TEL：0768-62-8529 MAIL: fukkousuishin@town.noto.lg.jp

ホームページURL

<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/1008/gyomu/1/1/4376.html>

